

1. 歴史

1946年に創立された京都人文科学館にルーツをもつ関西文理学園は、2011年に長浜バイオ大学（関西文理総合学園）に発展的に統合されます。

長浜バイオ大学は2003年に創立され我が国で唯一のバイオ系単科大学として、先端的なバイオサイエンスの基盤技術の確立を通じて、生命の普遍性原理を探求するとともに、これからの情報社会に相応しい、生物科学と情報科学、環境科学を融合したバイオテクノロジーを展開することによって、持続可能な人類社会の発展に貢献することを教学の理念としております。

このような理念のもとで、アカデミアのみならず産業界からも優秀な教員を採用し、着実に教学の成果をあげてきました。毎年教育研究設備を充実し、2007年には大学院を立ち上げ、2009年には従来のバイオサイエンス学科に加えて、アニマルバイオサイエンス学科、コンピュータバイオサイエンス学科を新設し、名実ともにバイオサイエンス、バイオテクノロジーを学ぶ環境が整ってきております。第一期生を始めとする卒業生は、21世紀の困難な状況の下、持続可能な社会に貢献するための重要な一員として社会からの期待にこたえるべく次々と巣立って行っており、教育・研究活動において高い評価を得ております。

2. 現状認識

21世紀は、生命科学の時代と言われています。現在、世界的な問題として地球温暖化と生態系の変化による絶滅生物種の増大、新型インフルエンザやトリインフルエンザ等の新興感染症、がん・糖尿病・アルツハイマー病等の増加、食品の自給と安全性への不安、不足するエネルギー問題など様々な問題が山積しています。これらの問題を解決するために、バイオサイエンス、バイオテクノロジーは最も有力な解決方法を提供するものとして期待されています。

本学が上記の問題を解決するための社会の要請に応え、特に本学の誘致にご協力いただいた長浜市への貢献のため、バイオサイエンス、バイオテクノロジーの専門技術者・研究者として学生を育て社会に送り出すためには、教学システムを一層充実発展させる必要があります。それにはまだいろいろと解決しなければならない問題も現実化しつつあります。

1) 大学全入時代の到来によって、基礎学力が不十分な学生が増えてきています。

2) 他大学においてもバイオ系列の学科や学部が増加しつつあり、本学はより一層鮮明に特徴を出して差別化を図る必要があります。

3) これからは国際的な学生交流により広い視野を養う必要があり、語学教育の必要性は高いと思われます。

3. 課題に対する計画案

1) 平成21年度より開始した「大学教育・学生支援推進事業」大学教育推進プログラム「学習ワンダーランド」の成功を期しての教職員の意識改革を進め、入学から就職までの一貫した教学体制作りが必要です。学生一人一人が自分の頭で考える「行動する思考人」となるための教育が望まれます。

2) 長浜バイオ大学の特徴を鮮明に出すためには以下の点を考える必要があると思います。

A. 文部科学省が進める「ライフサイエンス分野の統合データベース整備事業」で、本学は支援プロジェクトに参加し、学部生の人材育成を担っています。ヒトゲノムが次々と解読される時代に入り、従来から行ってきた生物情報（バイオインフォマティクス）の分野の学部教育を一層進める必要があると思われます。

B. さらに大量のゲノム情報を扱うことができる高度の人材養成のための大学院教育体制構築のため、文部科学省の「戦略的大学連携支援事業」に選定された本学と滋賀医科大学との大学間連携による「バイオ医療学」を推進し、3Dの教材開発を行ってきました。今後は「ゲノム検査師（仮称）」養成のための共同大学院を視野に検討しています。

C. また、長浜市の魅力発見による地域社会とのかかわりあいの構築をキャリア教育の一環として始めつつある「就業力支援（本学では「松島プロジェクト」）」を全学を挙げて支援することが大切です。さらに、長浜サイエンスパークへの進出企業と連携してのインターンシップ等が考えられます。長浜バイオインキュベーションセンター内のベンチャー企業との共同研究もサポートする必要があります。

D. 学内での研究の活性化のための仕組みが一層重要でしょう。学際力により学内共同研究の活性化を進めることにより本学の特徴を生かした研究を行い、産学協同による研究を進める必要があります。新型インフルエンザなどの防疫に利用できる一粒子検出による感染症診断機器の開発（JST 平成22年度研究成果最適展開支援事業）等がその一例です。

3) 外国の大学や国内の大学との一層の交流が望まれます。特に中国東北大学との交流が始まりつつあります。また韓国、タイ、シンガポールの大学との交流も進めたいものです。このための学生に対する語学教育を推進する必要があります。

まとめ

「学生が楽しく、元気でバイオを学ぶオンリーワンの大学」を目指す。